

# 梅の香り

7月9日（水）に、令和7年度 第1回梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議が梅坪台交流館で行われました。その概要をご紹介します。

## 第1回 梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議

### 《構成メンバー》

市議会議員、自治区長（上原・東梅坪・京町・梅坪・西山）、梅坪台交流館長、地区民生児童委員協議会会长、企画部会長、青少年育成委員長、福祉・健康委員長、まちづくり委員長、広報委員長・地域学校共働本部長、梅坪・浄水スポーツクラブ理事長、地区高連会長、校長（梅坪台中・梅坪小）、園長（梅坪こども園・まふみ幼稚園）、梅坪台中PTA育成担当、梅坪小PTA会長、教頭（梅坪台中・梅坪小）、地域コーディネーター（梅坪台中・梅坪小）

### 1 梅坪台中学校区コミュニティ・スクール連絡会議の「目指す子ども像」、「ねがい」

#### 《9年間で育てたい目指す子ども像》

豊かな体験を通して、「ふれあい」を楽しみ、「つながり」を深め、地域の一員としての喜びと絆を感じられる子ども

#### 《ねがい》

- ① 多様な交流活動や体験活動を通して、子どもと学校と地域の結びつきを強め、「地域で育てる学校」「地域が育つ学校」を目指す。
- ② 小中連携などの多様な交流活動や体験活動、また、地域での活動を通して、子どもたちの「主体的な判断力や行動力」「コミュニケーション能力」の育成を目指す。

☆目指す子ども像育成のための学校間の連携や学校と地域の連携方法、また、中学校区の子どもたちの健全育成について協議し、必要な方策をとる活動を行っていきます。

### 2 令和7年度の重点取組事項の設定

#### （1）重点取組事項

豊田市一の挨拶ができる子を育てるために学校と地域ができること

#### （2）設定の理由

- ① 目指す子ども像「地域の一員としての喜びと絆を感じられる子ども」の第一歩として、再び挨拶への取組を見直したいと考えたこと。
- ② 昨年度の会議の中で、地域の方への挨拶ができる子どもたちが少ないという現状が報告されており、地域の方への挨拶ができる子どもを育てるためには、学校と地域の連携が大切であること。



(3) 「豊田市一の挨拶ができる子を育てるために学校と地域ができること」について、

#### グループで意見交流

- 「それ違う子すべてに挨拶をする」ことをいつも意識して行動すれば、声をかけてくれる子が増えてきている。
- 自宅の前を通る子に毎日、挨拶をしている。続けていくことを大切にすれば、顔も覚えてくれる。
- コミュニケーションづくりが大切である。
- 普段から挨拶を意識しているので、子どもはよく返してくれる。大人同士の方が問題があるのではないか。
- 地域の人が集まる機会を増やすことで知り合いになり、挨拶ができるようになっていくのではないか。
- まず、大人が子どもに手本を示すことが大切。一番身近な家庭内から挨拶をする習慣をつけていくことが必要ではないか。家庭でできなければ、外ではできない。
- まず、学校で習慣化し、それを地域へ広げていくといいのでは。
- 根気よく声をかけ続けることが大切である。
- 児童や生徒が挨拶をしてくれることはあるが、学年が上がるにつれてできなくなる傾向がある。
- 学校内ではよく挨拶ができていると感じている。
- 「挨拶運動」など子どもたちが主体となって意識を高めていけるとよい。
- 地域の人が学校へ行って顔を覚えてもらうことが必要である。また、子どもたちも地域のイベントに積極的に参加して、地域の人を知ることが大切である。
- 挨拶は相手の目を見て言えるとよい。できれば、「○○ちゃん、おはよう」と声をかけることができるとよい。
- 地域では不審者と間違われないような対策も必要である。  
(ベストやネームプレートなど)
- 子どもたちと地域のつながりを深める場を多く設定する。
- 地域へこのようなテーマで挨拶ができる子を増やしていくという情報をしっかりと伝えていくことが必要。
- 挨拶運動をしても根付くところまで行っていないのが現状である。長いスパンで考えていいかないといけない。
- 挨拶によってどんなよいことがあるかをしっかりと伝えていくことが大切。
- 子どもたちが今よりも多く、地域の人たちとかかわりをもち、知り合いになっていくことが大切である。



### 3 学校の活動について（梅坪台中学校　日高校長、梅坪小学校　山田校長）

- ・5月の体育祭は、雨天による順延はあったが予定通り行うことができ、修学旅行も充実した活動ができた。職場体験学習では地域の方々にたいへんお世話になり、感謝している。
- ・9月に5年生の総合の授業で防災キャンプを行う計画で、避難所の体験活動を行う予定である。今年も3月にボランティアの方に感謝する「ありがとうの会」を計画している。

### 4 小中連携の取組について（梅坪台中学校　樋口教頭）

- ・6月に中学3年生の体育「ゴール型」を小学校の教師が参観し、11月に5年生の道徳の授業を中学校の教師が参観する予定である。
- ・1月に入学説明会、3月に中学校教師による小学校出前授業を予定している。

### 5 地域学校共働本部の活動報告（梅坪台中学校、梅坪小学校地域コーディネーター）

- ・地域ボランティアの活動、下校の見守り活動、学習支援等について説明した。